

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 「そうぞうをひろげてよもう」

教材名 「くじらぐも」

2 単元の目標

- ・場面の様子や登場人物について、想像を広げながら読むことができる。
- ・場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。
- ・書いたものを読み合っ、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら、文章を読もうとしている。	○内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読している。 ○説明したり必要な情報を得たりするなどの目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読んでいる。 ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読んでいる。	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいて文や文章を読んでいる。 ○言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

教材文から想像の世界を広げ、楽しむために「物語の続きを書くこと」を単元を貫く言語活動に設定した。第2次では、登場人物の「くじらぐもに乗りたい。」という気持ちの高まりや、楽しそうに空を泳いでいる情景から、くじらぐもと交流する登場人物の心情を読み取らせたい。「くじらぐもに乗って空を泳ぐ」という物語の設定から、子どもの想像を広げたいと考えた。

(2) 教材文について

本教材は、校庭で体育をしていた1年2組の先生や子供たちが、動きのまねをするくじらぐもに気づく場面からはじまり、そのくじらぐもと先生や子供たちとのやりとりを中心に展開する物語である。くもに乗るために手をつなぎ、声をそろえてジャンプする1年2組の様子や、くじらぐもに乗って広い空を泳いでいる様子が、登場人物の会話を中心に描かれている。物語に出てくる「くじらぐもとの会話」や「くじらぐもに乗って空を泳ぐ」という設定は、児童が物語の想像を広げ、想像の世界を楽しむのに適しており、本教材の主題であるくじらぐもとの交流の楽しさを十分味わうことができると考える。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

(1) 4つの思考の型を取り入れた言語活動

(2) 「物語文を読む10の観点」の活用

(3) 音読の工夫

- ・ あらすじをつかむための読み、思考を深めるための読み、学習によって深まった理解を表現するための読

みの機会を設定する。

- ・ 叙述に基づいた動作化を行い、場面の様子を確認するとともに、登場人物の心情を類推させるようにする。

(4) 板書の工夫・学習環境の工夫

- ・ 模造紙に書いて教室に掲示し、以前の学習内容を振り返ることができるようにする。
- ・ 本題材には、長さを表す言葉が出てくる。どれぐらいの長さなのか、児童が分かりやすいように具体物を用意する。
- ・ 空を泳ぐ様子を想像できるように、大きなくじらぐもを用意する。

(5) 発問の工夫

- ・ 児童が叙述に即して想像できるように、視点をしばって発問をする。

(6) ワークシートの工夫

- ・ 一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場面を限定することで、児童が想像しやすくなるようにする。また、サイドラインを引くための本文と自分の考えを書き込むスペースを一体化させることで、課題に取り組みやすくなるようにする。

6 学習指導計画（全9時間）

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	・ 心に残ったことを中心に感想を書く。	【関】物語を想像しながら、心に残ったことを感想に書いている。 (発表・ワークシート)
	2	物語の大体をつかむ。	物語のあらすじを捉えよう ・ 「ものがたりのかぎ」に基づき、物語の登場人物やあらすじを捉える。	【読】物語のあらすじをつかみ、まとめている。 (ワークシート)
2	3	第一場面を読み、くじらぐもの様子を読み取る。	くじらぐもの様子を読み取ろう (第一課題) ・ くじらぐもの様子が表れている所にサイドラインを引く。【選択】 くじらぐものが学校が好きだとわかるところを見つけよう (第二課題) ・ くじらも～しました。みんなのまねをしている。【関係付け】 (言葉の力) 助詞「も」の使い方	【読】助詞「も」に着目して、くじらぐもの様子を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	4	第二場面を読み、くじらぐもと会話する子供たちの心情を考える。	くじらぐもと子どもたちの会話を読み取ろう (第一課題) ・ みんなの言葉とくじらぐもの言葉を分けてサイドラインを引く。【選択】 「ここへおいでよう。」の「ここ」はどこのことだろう (第二課題) ・ 「ここ」の指す場所はどこか考える。【関係付け】 (言葉の力) 「ここ」、かぎ(「」)の使い方	【読】「ここへおいでよう」という言葉から、一緒に遊びたいという心情を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	5 (本時)	第三場面を読み、くじらぐものに飛び乗る子供たちの心情を考える。	みんながくじらぐもに飛び乗る様子を読み取ろう (第一課題) ・ 同じ言葉を見つけ、サイドラインを引く。【選択】 「天までとどけ、一、二、三。」のかけ声とどび方の違いを比べよう (第二課題) ・ 声の大きさやジャンプの高さに着目し心情の変化を捉える。【比較】 (言葉の力) 「もったたく。もったたく。」	【読】「もったたく。もったたく。」に着目して、くじらぐもに乗りたい気持ちの高まりを読み取ることができる。 (発表・ワークシート)

6	第四場面を読み、くじらぐもとと一緒に空を泳ぐ子供たちの心情を考える。	<u>くじらぐもとと一緒に空を泳ぐ様子を読み取ろう</u> (第一課題) ・くじらぐもの行動にサイドラインを引く。【選択】 <u>子供たちはどんなことを話しているのだろう</u> (第二課題) ・空を泳ぎながら何と言っていたかを考える。【類推】 (言葉の力)「あおい あおい」「どこまでも どこまでも」	【読】「あおい あおい。」「どこまでも どこまでも。」に着目して、くじらぐもとと一緒に元気いっぱい空を泳ぐ子供たちの心情を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	第五場面を読み、くじらぐもとと別れる子供たちの心情を考える。	<u>くじらぐもとさよならする子供たちの様子を読み取ろう</u> (第一課題) ・先生とくじらぐもの行動にサイドラインを引く。【選択】 <u>なぜ先生は腕時計を見て驚いたのだろう</u> (第二課題) ・自分の経験と照らし合わせて、なぜ先生が驚いたのか考える。【関係付け】 (言葉の力)「おどろく」	【読】「おどろく。」に着目して、くじらぐもとと一緒に楽しい時間を過ごした子供たちの心情を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
3	8・9 「くじらぐも」のお話の続きを考えて交流しよう。	<u>お話の続きを書こう</u> ・各自が自分なりに「くじらぐも」のお話の続きを考え、想像を楽しみながら書く。 <u>感じたことを交流しよう</u> ・続きのお話を読んだ感想をペアやグループで交流し、一人一人の感じ方の違いに気付く。	【読】お話の続きを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。 (発表・ワークシート)

7 本時の指導 (5/9時)

(1) 本時の目標

「天までとどけ、一、二、三。」のかけ声ととび方の違いを比べ、子供たちの気持ちの高まりを読み深めることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	1 前時までの学習活動を振り返る。 2 本時の課題を知る。 <u>みんながくじらぐもに飛び乗る様子を読み取ろう (第一課題)</u>		
展開	3 第三場面を音読する。 4 同じ言葉を探し、サイドラインを引く。 【選択】 誰が話した言葉か考える。【関係付け】 ・「天までとどけ、一、二、三。」3カ所(みんな) ・「もっとたかく。もっとたかく。」2カ所(くじら)	○2種類の言葉にサイドラインを引かせる。	【読】楽しんで音読している。(観察) 【読】同じ言葉に気付くサイドラインを引くことができる。 (ワークシート)
	<u>「天までとどけ、一、二、三。」のかけ声ととび方の違いを比べよう (第二課題)</u>		
	5 1回目、2回目、3回目の「天までとどけ、一、二、三。」の掛け声ととび方の違いを比べよう。 【比較】	○紙テープなどを用いて実際の高さを確認する。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・跳んだ高さを確認する。 1回目 三十センチぐらい。 2回目 五十センチぐらい。 3回目 かぜが、みんなを空へふきとばした。 ・動作化して、ジャンプした高さや声の大きさ、気持ちの高まりを確認する。 ・動作化したことを基に、みんなの気持ちを考え、ワークシートに書く。 <p><言葉の力> 「もっとたかく。もっとたかく。」(繰り返しの表現)</p> <p>6 なぜくじらぐもに乗ることができたのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじらぐもの応援。 ・みんなで手をつないで輪になる。 	<p>○何度も挑戦するたび、飛び乗りたいという心情が高まっていく様子を意識付ける。</p> <p>○みんなだけでなく、くじらぐもの気持ちもひとつになっていることに気付かせる。</p>	<p>【読】みんなの高まりゆく心情に気付き、それを書き表している。 (ワークシート)</p>
ま と め	<p>7 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返りながら、第三場面を音読する。 ・繰り返しの表現で、気持ちが強まることをおさえる。 <p>8 次時の学習のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四場面でくじらぐもに乗って空を泳ぐ様子を読み取る学習の見通しをもつ。 	<p>○みんなの高まりゆく心情やくじらぐもがみんなを応援する気持ちを読み取り、音読させる。</p>	